

2020年度 研究センター事業報告書

研究センター名	中東・イスラーム研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。

■当センターの設置とその目的

「中東・イスラーム研究センター（Center for Middle Eastern and Islamic Studies, CMEIS〔シーメイス〕）」は、2019年10月1日に設置され、その目的は、立命館大学の総合私立大学としての強みを最大限に活かし、多様な学問的背景を持ったスタッフの力を結集することで、①学際性を特長とする総合的な中東・イスラーム研究を推進していくこと、そして、②最先端の研究の追求を通して、中東・イスラームに関する総合的な知を備えた次世代の研究者・専門家の育成に取り組むこととされた。

■2020年度の活動

①については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による研究・調査活動の制約から、研究成果の公開に注力した。具体的には、書籍・論文などの出版とオンラインでの研究会・ワークショップ・シンポジウムの開催であった。(1)政治・国際関係、(2)文化・ジェンダー、(3)歴史・広域ネットワーク、(4)社会・経済システムの4つのユニット(研究領域)のうち、(1)(2)(3)に重点が置かれた。

- ・ イラン・イラク戦争から40年・湾岸危機/湾岸戦争から30年・公開シンポジウム「変動する湾岸情勢と日本:危機の時代を前望する」の開催(2020年9月18日)
- ・ 末近浩太『中東政治入門』(筑摩書房, 2020年9月)の刊行、および CMEIS Book Launch の開催(2021年10月1日)
- ・ 吉川卓郎『ヨルダンの政治・軍事・社会運動:倒れない王国の模索』(晃洋書房, 2020年12月)の刊行、および CMEIS Book Launch の開催(2021年2月25日)
- ・ 池端路子『宗教復興と国際政治:ヨルダンとイスラーム協力機構の挑戦』(晃洋書房, 2021年2月)の刊行、および CMEIS Book Launch の開催(2021年5月25日〔2021年度〕)
- ・ 末近浩太編著『シリア・レバノン・イラク・イラン(シリーズ・中東政治研究の最前線2)』(ミネルヴァ書房, 2021年3月)の刊行
- ・ 小林功・馬場多聞編著『地中海世界の中世史』(ミネルヴァ書房, 2021年3月)の刊行
- ・ その他、CMEIS Report を創刊し、5号までの刊行を行った。
- ・ なお、上海での講演会(5月)、および MSA2020(5月)と IPSA2020(7月)でのパネル報告は COVID-19 のため次年度へと延期された。

②については、以下のとおりである。

- ・ 「中東・イスラーム研究の新地平：ウィズコロナ時代のチャレンジ」と題したオンラインシンポジウムを開催し、若手研究者、PD、大学院生による研究報告の機会を設けた(2021年1月19日)
- ・ メンバーの科研費をはじめとする各研究予算・プロジェクトにおいて、PD、大学院生のための研究報告の機会を設けた(全3回)。
- ・ PD、大学院生に CMEIS Report への寄稿を促し、研究成果のアウトリーチをサポートした。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2021年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
センター長	末近 浩太	国際関係学部	教授
運営委員	阿良田 麻里子	食マネジメント学部	教授
	馬場 多聞	文学部	准教授
	吉川 卓郎	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	教授
	小杉 泰	立命館アジア・日本研究機構	特別招聘研究教員(教授)
	嶋田 晴行	国際関係学部	教授
	鳥山 純子	国際関係学部	准教授
	山下 範久	グローバル教養学部	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	黒田 彩加	立命館アジア・日本研究機構	特別招聘研究教員(准教授)
	アシャデオノ フィトリオ	政策科学部	助教
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	ハシヤン アンマール	立命館アジア・日本研究機構
	補助研究員・リサーチ アシスタント		
	大学院生		
学振特別研究員 (PD・RPD)	池端 露子	立命館大学	学振特別研究員(PD)
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修 生等・博士前期課程院生等)			
客員協力研究員	円城 由美子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	アプハジアル リハーブ	中東・イスラーム研究センター	客員研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者 等)			
研究所・センター構成員	計 14 名	(うち学内の若手研究者 計 2 名)	

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2021年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	末近浩太	『中東政治入門』	単著	2020年9月	筑摩書房（ちくま新書）		pp.336
2	末近浩太	「序章」 「紛争下シリアにおける国家観の拡散」 『紛争が変える国家』（シリーズ「グローバル関係学」第4巻）	単著	2020年9月	岩波書店	末近浩太、遠藤貢 編著	pp.1-21 pp.24-43
3	末近浩太	「序章 中東に生成される新たな「地域」」 『シリア・レバノン・イラク・イラン』（シリーズ「中東政治研究の最前線」第2巻）	単著	2021年2月	ミネルヴァ書房	末近浩太編 中村覚監修	pp.1-26
4	末近浩太	“Sectarian Fault Lines in the Middle East: Sources of Conflicts or Communal Bonds?,” Larbi Sadiki ed., Routledge Handbook of Middle East Politics.	共著	2020年4月	Routledge	Larbi Sadik 編 酒井啓子・末近浩太 共著	pp. 269-280
5	末近浩太	「ジハード主義の系譜」 『中東・オリエント文化事典』	単著	2020年11月	丸善出版	鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸編集代表	pp. 320-321
6	鳥山純子	「庶民の夢は潰えたのか——エジプトで進む教育のダブルスタンダード化」 『イスラーム・ジェンダー・スタディーズ3 教育とエンパワーメント』	単著	2020年2月	明石書店	服部美奈・小林寧子 編著	pp.150-163
7	鳥山純子	「現代カイロのロマンチッククラブ——恋愛、性、結婚の三位一体——」 『宗教と風紀（聖なる規範）から読み解く現代』	単著	2020年1月	岩波書店	高尾健一郎・後藤絵美・小柳敦史編	pp.84-85
8	鳥山純子	「美の基準」、「エジプト台所と調理」 『中東・オリエント文化事典』	単著	2020年11月	丸善出版	鈴木董・近藤二郎・赤堀雅幸編集代表	pp.28-229, pp.656-657
9	馬場多聞	『地中海世界の中世史』	共著	2021年3月	ミネルヴァ書房	馬場多聞、小林功 編著	
10	吉川卓郎	『ヨルダンの政治・軍事・社会運動 倒れない王国の模索』	単著	2020年12月	晃洋書房		pp.190
11	池端蒔子	『宗教復興と国際政治—ヨルダンとイスラーム協力機構の挑戦—』	単著	2021年2月	晃洋書房		pp.254
12	池端蒔子	「イスラーム協力機構—宗教で結びつく国際関係—」 『現代中東における宗教・メディア・ネットワーク—イスラームのゆくえ—』	単著	2021年3月	春風社	千葉悠志・安田慎編 著	pp.193-211
13	ハシヤン アンマール	‘Life between Searching for the Classic in the Cyberspace and Going to the Field: My Studies on Islamic Economics in the Middle East and Southeast Asia’, “Asia and Japan Today (1): Researchers’ Essays at the Arrival of a New COVID Era”	単著	2021年3月	立命館大学アジア・日本研究所	ハシヤン アンマール・黒田彩加 編著	pp.67-72

14	黒田 彩加	“The Joy of Reading Personal Histories from the Primary Sources: Encounters during My Research on Islamic Thinkers in Egypt”, “Asia and Japan Today (1): Researchers’ Essays at the Arrival of a New COVID Era”	単著	2021年3月	立命館大学アジア・日本研究所	ハシヤン アンマール・黒田彩加 編著	pp.46-53
15	黒田彩加	「現代イスラーム改革の思想戦略と『現代のムスリム』誌 : 20世紀後半のアラブ思想界の深層を読む」『現代中東の宗教・メディア・ネットワーク——イスラームのゆくえ』	単著	2021年3月	春風社	千葉悠志・安田慎編著	pp.53-74
16	嶋田晴行	「グローバル・サウスと「途上国」-途上国とは何か?」『地域研究へのアプローチ-グローバル・サウスから読み解く世界情勢』	単著	2021年3月	ミネルヴァ書房	児玉谷史朗・佐藤章・嶋田晴行編著	pp.37-51

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	末近浩太	「内戦後最大の政治経済危機に直面するレバノン」	単著	2021年1月	公益財団法人中東調査会『中東研究』第540号(1月), Vol.3		pp.7-26	無し
2	末近浩太	「「アラブの春」から10年: イスラーム主義はなぜ敗北したのか」	単著	2021年3月	外務省『外交』Vol.66		pp.110-115	無し
3	小杉泰	“Ijma in Islamic Law and Islamic Thought: Tradition, Contemporary Relevance, and Prospects”	共著	2021年3月	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター『イスラーム世界研究』第14巻	池端路子	pp.5-29	有り
4	小杉泰	「責任の体系としてのシャリーア —イスラーム法源学による法規定の定式化と5範疇への収斂の構造—」	単著	2021年3月	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター『イスラーム世界研究』第14巻		pp.179-208	有り
5	馬場多聞	「中世イェメンにおける奴隷」	単著	2021年1月	東京大学中東地域研究センター『アラビア半島の歴史・文化・社会』		pp.159-174	無し
7	吉川卓郎	「ヨルダンにおけるイスラーム主義の安全保障化 ムスリム同胞団とISの事例から」	単著	2020年6月	国家安全保障学会『国際安全保障』第48巻1号		pp.78-96	有り
8	阿良田 麻里子	「ハラールと給食対応」	単著	2020年6月	『食育フォーラム』健学社20(6)		pp.12-24	無し
9	阿良田麻里子	「ネットを活用した情報開示で食の禁忌への対応を」	単著	2020年7月	『明日の食品産業』(2020(7/8月))		pp.3-5	無し
10	阿良田麻里子	「食のハラールとムスリム対応認証制度について」	単著	2020年12月	日本調理科学会日本調理学会誌 53(6)		pp.415-422	有り
11	阿良田麻里子	「今ここにいるムスリムに食を提供すること」	単著	2021年1月	公益社団法人日本栄養士会日本栄養士会雑誌 64(1)		pp.6-7	有り
12	阿良田麻里子	「with コロナ時代の食文化 フィールドワークの試み —Zoom等のICTを利用した共食実践とオンライン調査」	単著	2021年3月	立命館大学食マネジメント学会立命館食科学研究 (4)		pp.77-93	有り
13	アシャデオノ フィトリオ	“Future-Proofing Coffee Cultivation through Terroir-Based Adaptation Framework: Developing Rural	単著	2020年10月	Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University, 2		pp.59-76	有り

		Communities in Indonesia.”						
14	アシャデオ ノ フイトリ オ	“From Commodity to Specialty Products: Three Key Concepts for a Sustainable Tea and Coffee Industry in Indonesia.”	単著	2020年10月	Asia-Japan Research Academic Bulletin, 1		pp.1-6	無し
15	アシャデオ ノ フイトリ オ	「アジア茶産業の現状と課題：宇治とヌワレリヤを事例に」	単著	2020年6月	立命館アジア・日本研究学術年報, 1		pp.53-57	無し
16	嶋田晴行	“A Consequence of Soviet Military Intervention in Afghanistan: Lessons Learned for the U.S. and the Taliban Agreement.”	単著	2020年11月	Ritsumeikan Journal of International Relations and Area Studies, Ritsumeikan University Institute of International Relations and Area Studies, Vol.52		pp.199-214	無し

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	末近浩太	「中東の紛争（発生・継続・終焉）をどのように分析すべきか」	2020年7月	オンライン開催、科学研究費補助金・基盤研究（A）「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」政治研究会「政治と暴力」科学研究費補助金・基盤研究（B）「現代中東における政治と宗教：「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に」合同研究会	
2	末近浩太	“Syria, JCPOA and the New US Administration”	2021年1月	The 8th IPIS-SPF Joint Roundtable, Webinar “Regional and International Issues,” Institute for Political and International Studies (IPIS) and The Sasakawa Peace Foundation (SPF)	
3	末近浩太	司会、岩波叢書「グローバル関係学」シリーズ刊行開始記念 Book Launch Series 2 「第4巻『紛争が変える国家』を語る：紛争下の人びとの多様な国家観を可視化する」	2020年11月	オンライン開催、岩波叢書「グローバル関係学」シリーズ刊行開始記念 Book Launch Series 2 「第4巻『紛争が変える国家』を語る：紛争下の人びとの多様な国家観を可視化する」	
4	小杉泰	「軍事と戦争の政教分離とイスラーム復興：法源学研究の観点から」	2020年7月	オンライン開催、科研費：基盤A「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」政治研究会「政治と暴力」	
5	小杉泰	「ジャマーア／イジュマー論をめぐって：スンナ派イスラームにおける多数派主義とその表現方法の変遷」	2020年9月	オンライン開催、科研費：基盤A「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」イスラーム法源学「イスラーム法研究会」	池端路子
6	小杉泰	“Resurgent Islamic Jurisprudence and an Alternative Path of Development”	2020年11月	18th Asia Pacific Conference, Online	
7	小杉泰	「中東・イスラーム研究におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の次段階へ向けて：法源学データベースの戦略を事例として」	2021年1月	オンライン開催、公開シンポジウム「中東・イスラーム研究の新天地 ウィズコロナ時代のチャレンジ」	
8	小杉泰	「サラフとサラフィー主義（サラフィーヤ）の名づけとその系譜」	2021年1月	オンライン開催、科研費：基盤A「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向」	

				向：過激派と対峙する主流派」イスラーム法研究会「サラフィー主義とは何か」	
9	小杉泰	「イスラームの性倫理とは何か：シャリーアの法益（マカーサイド）論から」	2021年2月	オンライン開催、 科研費：基盤A「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」イスラーム法研究会「現代イスラーム・ジェンダー・性倫理をめぐる視座と論点整理」	
10	鳥山純子	「ほろびゆく嗜好品？ エジプト都市部の「粗野で下品」でクールなリップ」	2021年2月	オンライン開催、国立民族学博物館、「境界を楽しむ：中東・イスラーム世界の嗜好品」	
11	鳥山純子	“De-politicizing Islam, Re-politicizing Islam: An Inter-Asian Attempt”	2021年2月	Online, Session 2 Islam in Action in Inter-Asian Everyday Lives: Looking beyond Islamophobia, in Asia, Japan, and the Global Society: Developing Research through Cross-Border Academic Collaboration	
12	鳥山純子	“The challenge between Heritage and Peace” in the panel “Between Heritage and Peace: Heritage preservation in the time of “After Orientalism.”	2020年9月	Online, 10th International Conference of Museums for Peace. Kyoto	
13	鳥山純子	“Racism, Anti-oppression and International Affairs”	2020年9月17日	Online, Global Insights Balsillie School of International Affairs, Canada, https://www.balsillieschool.ca/global-insights/	
14	馬場多聞	「中世の地中海とアデン」	2020年11月	国際商業史研究会例会	
15	馬場多聞	「14世紀のイエメンの東アフリカ出身者」	2020年11月	国立民族学博物館共同研究「人類史における移動概念の再構築：「自由」と「不自由」の相克に注目して」第二回研究会	
16	吉川卓郎	“The multi-layered struggle over Islamism during the Arab Spring: An analysis of the Muslim Brotherhood in the Hashemite Kingdom of Jordan”	2020年4月	オンライン開催、ユルドゥズ工科大（トルコ）、4th Annual International Conference on Social Sciences (AICSS)	
17	吉川卓郎	“Regime Security in Jordan revisited: the new challenges to the monarchy’s resilience after the Arab Spring”	2020年10月	オンライン開催、Middle East Studies Association 54th Annual Meeting	
18	阿良田麻里子	パネルディスカッションのファシリテーター、国際シンポジウム「Beyond コロナ時代の食と農」	2021年3月	オンライン開催、立命館大学アジア・日本研究所/立命館大学食総合研究センター	
19	山下範久	“Comments and questions on Lynn Rhodes’ Presentation”, (シンポジウムⅢ「社会・文明・思想から「いのち」を考える」における指定質問者)	2020年11月	オンライン開催、第38回比較文明学会大会	
20	アシャデオノ フィットリオ	「農地から構想する気候変動対応策：インドネシア・スマトラ島の農協の戦略と政策」	2020年10月	オンライン開催、第24回AJI研究最前線セミナー	
21	アシャデオノ フィットリオ	“Enhancing the Sustainability of Rural Communities: Terroir Approach as a Tool for Selective Commodification.”	2020年11月	18th Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies, Ritsumeikan Asia Pacific University. Online	
22	アシャデオノ フィットリオ	“Decommodification and Rural Development: Towards Sustainable Coffee Production in Indonesia.”	2020年12月	Guest Lecture Series, Department of Public Administration, Faculty of Social and Political Science, Universitas Airlangga, Indonesia. Online	

23	アシャデオ ノ フイトリ オ	“Towards Sustainable Rural Communities: Utilizing the Terroir Approach in Agroecology.”	2020年12月	The 5th International Conference on Science and Technology 2020, Institute for Research and Community Services, Universitas Mataram, Indonesia. Online	
24	アシャデオ ノ フイトリ オ	“Strengthening the Resilience of Rural Agricultural Societies in Indonesia: Agroecology with a Terroir Approach.”	2021年1月	International Workshop on Agricultural Resilience and rural Society in the era of rapid change: Indonesian perspectives, Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University. Online	
25	アシャデオ ノ フイトリ オ	“Agriculture Beyond COVID: Specialty Products using Terroir Approach.”	2021年3月	Food and Agriculture beyond the Pandemic, Asia-Japan Research Institute and Research Center for Gastronomic Arts and Sciences at Ritsumeikan University, Meridian 180 (Northwestern University). Online	
26	アブハジア ル リハー ブ	“The Principle of Autonomy in Biomedical Ethics: An Islamic Perspective”	2020年8月	Japan Association for Middle East Studies “JAMES” online conference	
27	池端路子	「『君主と学者の同盟』の現代版か？—ヨルダン、ガーズィー王子の思想と活動—」	2020年8月	日本中東学会年次大会特別研究集会	
28	池端路子	“Consensus Making in the Modern Islamic World: Discourses of Agreement in International Conferences”	2020年11月	18th Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University	
29	ハシヤン アンマール	「イスラーム仮想通貨はどこまで可能か？その是非をめぐる3つの争点と法学的経済論の視座」	2020年8月	日本中東学会年次大会特別研究集会	
30	ハシヤン アンマール	“Current Trends in Revitalization of Waqf as a Sustainable Islamic Microfinance Instrument: An Overview of the Kuwaiti Vision”	2020年11月	AY 2020 18th Asia Pacific Conference	
31	ハシヤン アンマール	「イスラーム的制度としてのワクフとその法学的構築—クルアーン・ハディースとイジュティハード—」	2020年12月	日本オリエント学会第62回大会	
32	ハシヤン アンマール	Envisaging the Islamic Waqf System: the Qur’an, Sunna, Ijtihad and Nuzum Theory	2021年1月	International workshop on Islamic Economics: Reassessing Waqf, Zakat, and Takaful: The Revival of Islamic Welfare Institutions in Asia	
33	ハシヤン アンマール	Applying Nuzum Theory to the Field of Islamic Welfare Institutions: With Special Reference to Waqf and Zakat	2021年3月	2nd International Colloquium on Asian Paths of Civilization and Development	
34	黒田彩加	「文献報告：陳光興『脱帝国 方法としてのアジア』」（担当：第1章）	2020年11月	オンライン開催、立命館大学アジア・日本研究推進プログラム「インターアジア現象としての「イスラーム的ジェンダー」の考察」プロジェクト第1回公開研究会	
35	黒田彩加	「アメリカにおけるイスラーム思想—ハーリド・アブルファドルのサラフィー主義（宗教的厳格派）批判とポスト・セキュラリズム」	2021年2月	NIHU 地域研究推進事業「現代中東地域研究」京都大学イスラーム地域研究センター拠点・3班合同研究会、京都大学（オンライン開催）	

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
-----	-------	------	------	------	-------

1	中東・イスラーム時代の新地平 ウィズコロナ時代のチャレンジ	Zoomによるオンライン開催	2021年1月	43名	(主催・共催) 立命館大学アジア・日本研究所、中東・イスラーム研究センター、国際地域研究所 科研費基盤A「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」(研究代表者：小杉泰) 科研費基盤B「イスラーム金融の新実践における初期規範理論の復権と発展的再構築」(研究代表者：長岡慎介) 科研費基盤B「現代中東における政治と宗教：「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に」(研究代表者：横田貴之) 科研費基盤B「計量テキスト分析を用いた現代中東における新たな政治的動員に関する実証研究」(研究代表者：末近浩太) 科研費新学術領域研究計画研究B02「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」(研究代表者：末近浩太) NIHUプログラム「現代中東地域研究」京大拠点・第2班「イスラーム中道派研究班」第3班「イスラーム経済研究班」
2	CMEIS Book Launch「聖地の紛争とエルサレム問題の諸相」	Zoomによるオンライン開催	2020年6月	58名	立命館大学中東・イスラーム研究センター
3	CMEIS Book Launch「中東政治入門」	Zoomによるオンライン開催	2020年10月	32名	立命館大学中東・イスラーム研究センター
4	CMEIS Book Launch「オスマン帝国英傑列伝 600年の歴史を支えたスルタン、芸術家、そして女性たち」	Zoomによるオンライン開催	2020年11月	30名	立命館大学中東・イスラーム研究センター
5	CMEIS Book Launch「ヨルダンの政治・軍事・社会運動 倒れない王国の模索」	Zoomによるオンライン開催	2021年2月	34名	立命館大学中東・イスラーム研究センター
6	岩波叢書「グローバル関係学」シリーズ刊行開始記念Book Launch Series 2「第4巻『紛争が変える国家』を語る：紛争下の人びとの多様な国家観を可視化する」	Zoomによるオンライン開催	2020年11月	42名	科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型)「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」、立命館大学中東・イスラーム研究センター

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	末近浩太	「現代のことば」	京都新聞 夕刊1面 計6回掲載	2020年4月～2021年2月
2	末近浩太	「ヒズボラ完全排除 考えにくい(考論)」	朝日新聞 国際面	2020年9月28日
3	末近浩太	「18宗派が共存するレバノン「クサイものにふた」の過去(今さら聞けない世界)」	朝日新聞デジタル	2020年8月14日
4	末近浩太	CMEIS Book Launch「『中東政治入門』を語る」	Zoomによるオンライン開催	2020年10月1日
5	末近浩太	「激動の中東情勢を読む」兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	阪神シニアカレッジ	2020年12月18日
6	末近浩太	「イスラーム主義の挑戦」兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	阪神シニアカレッジ	2020年12月18日
7	末近浩太	「イスラームとは何か」兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	阪神シニアカレッジ	2020年12月22日
8	末近浩太	「中東における「宗教と政治」」兵庫県阪神シニアカレッジ・国際理解学科	阪神シニアカレッジ	2020年12月22日
9	末近浩太	「中東を脱神話化する」立命館西園寺塾2020年度梅原文明コース	立命館東京キャンパス	2020年2月13日
10	吉川卓郎	CMEIS Book Launch「ヨルダンの政治・軍事・社会運動 倒れない王国の模索」	Zoomによるオンライン開催	2020年2月25日
11	円城由美子	書評、ミネルヴァ書房『イスラームに生まれて―知られざる女性たちの私生活』著者 読売新聞中東特派員	雑誌『FACTA』、35頁	2021年2月

12	アブハジア ル リハー ブ	“Daily Life in Gaza, Palestine” (英 語講演)	京都ノートルダム大学	2020年12月
13	アブハジア ル リハー ブ	“Palestinian culture” (英語講演)	京都ノートルダム大学	2020年12月
14	末近浩太	“Uneasiness as a Minority”	『CMEIS REPORT』 No. 2	2020年5月25日
15	末近浩太	「『中東政治入門』を語る 中東地 域研究の持続可能な発展のために」	立命館大学中東・イスラーム研究センター 『CMEIS REPORT』 No.4	2020年10月19日
16	吉川卓郎	“Virus, social order, and election in Joran”	立命館大学中東・イスラーム研究センター 『CMEIS REPORT』 No. 5	2020年12月17日
17	池端路子	「新型コロナウイルス感染拡大直前 のヨルダン滞在記」	立命館大学中東・イスラーム研究センター 『CMEIS REPORT』 No. 1	2020年5月25日
18	黒田彩加	“Book Review: Dialogues with Tariq al- Bishry: An Intellectual Journey between the Self and the Community”	Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University (2): 187-189	2020年10月
19	黒田彩加	「文献と向き合う喜び、個人史の交 差点：エジプト・イスラーム研究の 経験から」	(『アジアと日本は、今』) 立命館大学アジ ア・日本研究所 (エッセイ)	2020年7月9日
20	ハシヤン アンマール	「サイバー空間の猟歩と現地調査の 往還：中東と東南アジアのイスラ ーム経済研究」	(『アジアと日本は、今』) 立命館大学アジ ア・日本研究所 (エッセイ)	2020年11月19日
21	嶋田晴行	「中村医師、凶弾に倒れて1年 ア フガンの苦境と一筋の光」	(インタビュー記事) 朝日新聞デジタル	2020年12月4日
22	嶋田晴行	「アフガニスタン復興：日本にでき ることは何か？」	nippon.com, https://www.nippon.com/ja/in- depth/d00567/	2020年5月18日
23	山下範久	「簡単に過去にはならぬ帝国」 (ジ ョン・ダーウィン『ティムール以 後』書評)	『日本経済新聞』	2021年1月30日
24	山下範久	「未来を考える材料として歴史の見 方を身につける」	『Works』 164号2・3月 pp.46-49、リクルートワークス研究所	2021年2月10日
25	山下範久	「『史観』 批判は出会えるか？」	Humanities Center Booklet (4), pp.17-28, 2020, 東京大学連携研究機構ヒューマニティ ーズセンター	2020年7月10日
26	鳥山純子	『自分の身体は自分のもの？』 自 分の身体と共に生きていくために	立命館中学校	2021年11月13日
27	鳥山純子	「語られる『ナディア』」 「映画シ ンポジウム：アジアを知る 『ナデ ィアの誓い On Her Shoulders』」	東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネッ トワーク (ASNET)	2021年2月20日
28	鳥山純子	「ナディアと語る」 「UNHCR WILL2LIVE CINEMA 学校パートナ ーズ 明治学院大学 『ナディアの 誓い』 映画上映&トーク」	明治学院大学国際平和研究所	2021年3月16日

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	衣笠三郎	財団法人〇〇財団	〇〇優秀文化賞	〇〇に関する研究	2014年10月

(7). 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	末近浩太	「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」	新学術領域研究グローバル関係学計画研究B02	2016年6月	2021年3月	代表者
2	末近浩太	「計量テキスト分析を用いた現代中東における新たな政治的動員に関する実証研究」	基盤研究(B)	2019年4月	2022年3月	代表者
3	末近浩太	「グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて：関係性中心の融合型人文社会科学の確立」	新学術領域研究グローバル関係学総括班	2016年6月	2021年3月	分担者
4	末近浩太	「関係性を中心とした融合型人文社会科学のための国際学術ネットワークの解明」	新学術領域研究グローバル関係学国際活動支援班（酒井）	2016年6月	2021年3月	分担者
5	末近浩太	「東アラブ地域の非公的政治主体による国家機能の補完・寡奪に関する研究」	基盤研究(A)	2018年4月	2023年3月	分担者
6	末近浩太	「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済：過激派と対峙する主流派」	基盤研究(A)	2019年4月	2024年3月	分担者
7	末近浩太	「紛争地域における「記憶」と「安全保障化」のメカニズム—「東地中海」を事例に」	基盤研究(B)	2019年4月	2023年3月	分担者
8	末近浩太	「現代中東における政治と宗教—「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に」	基盤研究(B)	2019年4月	2022年3月	分担者
9	馬場多聞	「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築：世界の分断をのりこえる戦略知の創造」	学術変革領域研究(A)	2020年11月	2025年3月	分担者
10	小杉泰	「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済：過激派と対峙する主流派」	基盤研究(A)	2019年4月	2024年3月	代表者
11	鳥山純子	「2011年革命後エジプト都市部における「ろくでなし」社会研究」	若手研究	2020年4月	2024年3月	代表者
12	鳥山純子	「ポスト・アラブの春時代における中東ムスリムのグローバル移動と社会関係の複合的再編」	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化B）	2019年10月	2024年3月	分担者
13	鳥山純子	「感情労働の地域・階級間比較にみる「近代家族」、フェミニズム思想の越境性とその限界」	基盤研究(B)	2018年4月	2022年3月	分担者
14	鳥山純子	「イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究」	基盤研究(A)	2020年4月	2024年3月	分担者
15	吉川卓郎	「ヨルダン政治と部族社会：南部の政治・社会・経済に関する現地調査を中心に」	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化A)	2019年10月	2022年3月	代表者
16	吉川卓郎	「現代中東における政治と宗教—「アラブの春」以降のムスリム同胞団を事例に」	基盤研究(B)	2019年4月	2022年3月	分担者
17	吉川卓郎	「ヨルダンの政治・軍事・社会運動—倒れない王国の模索」	研究成果公開促進費 学術図書	2020年6月	2021年3月	代表者
18	池端路子	「現代イスラーム世界の分断と統合：グローバル法学による合意形成と宗派対立の克服」	特別研究員奨励費	2019年4月	2022年3月	代表者
19	池端路子	「宗教復興と国際政治—ヨルダンとイスラーム協力機構の挑戦—」	研究成果公開促進費 学術図書	2020年6月	2021年3月	代表者
20	ハシヤン アンマール	「イスラーム経済の新潮流：ワクフ（寄進財産）をめぐる法学革新と代替的福祉制度の創出」	若手研究	2018年4月	2021年3月	代表者
21	黒田彩加	「民主化失敗以降のアラブ政治変動と穏健派イスラームの国際的思想構築」	若手研究	2020年4月	2023年3月	代表者
22	嶋田晴行	「「難民」問題と援助の関係性 - アフガニスタン人を例に」	若手研究	2019年4月	2021年3月	代表者

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
-----	----	------	-----------	------	------	----

1	末近浩太	「現代イスラームにおける平和・共存構築に関する総合的研究」	JSPS 特別研究員研究推進プログラム (学内)	2020年4月	2021年3月	代表
2	末近浩太	「中東紛争と平和構築」(紛争・平和構築研究プロジェクト)	国際地域研究所 重点プログラム (学内)	2020年4月	2021年3月	代表
3	末近浩太	「アジア・イスラームとジェンダー論」	アジア・日本研究所 重点プログラム (学内)	2020年4月	2021年3月	代表
4	小杉泰	「アジア的文明・発展径路の多元性」	アジア・日本研究所 重点プログラム (学内)	2020年4月	2021年3月	代表
5	小杉泰	「With コロナ時代のアジア研究を先導する《拡張現実》の活用と情報可視化の手法開発」	With コロナ社会 提案公募研究プログラム -Visionaries for the New Normal-2020 (学内)	2020年10月	2021年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	立命太郎	特許(国内)	本人単独	筆頭発明者	****	****	****	日本